

=特色=

施設分離型で小中一貫教育を進めています。3校が近距離にある環境を有効に活用し、児童生徒間や教職員間の交流を活発に行っています。
伝える力の育成を通して、確かな学力の向上を目指します。

=地域の様子=

本地区は、自治医科大学および大学附属病院の開業、自治医大駅の新設により、急速に発展した地域です。地域住民・保護者は、他地域出身の割合が高く、学校の教育活動に協力的です。

=児童生徒の様子=

知的好奇心が高く、学習態度は良好で、課題に対し熱心に取り組むことができます。また、礼儀正しく落ち着いた生活態度で学校生活を送っています。

南河内第二中学校区小中一貫教育グランドデザイン

《長期ビジョン》

夢と希望をもち、たくましく未来を拓く児童生徒の育成

《目指す子ども像》

- 〈まなび〉 主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども
- 〈こころ〉 思いやりの心を持ち、自他を大切にできる子ども
- 〈からだ〉 健康に関心を持ち、体力向上に励む子ども
- 〈つながり〉 社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

2024～2025年度 南河内第二中学区実践研究〔聞いて考える力の育成〕
教育活動全体を通して、聞いて考える力を育て、相手の考えや気持ちを理解し、自分の考えを深めることができる子供を育成します。

小中一貫推進運営委員会(管理職チーム)

児童生徒指導連絡会

事務共同実施
(事務職チーム)

プロジェクト委員会

学習指導チーム

心づくりチーム

健康チーム

つながりアクションチーム

まなび

基礎 基本を定着させ、児童生徒の主体性を引き出します。

達成目標	中2～中3	主体的・対話的に学び、互いに高め合うことができる。
	小5～中1	学び合いを通して、思考力と表現力を高めることができる。
	小1～小4	学習習慣を身に付け、自分の考えをもち、進んで表現することができる。

- 9年間を見通した学習指導の推進
- 3校での授業研究
- 学力調査の分析を生かした授業改善
- 家庭学習の定着と充実
- タイピング力の育成



小中教員の相互乗り入れ授業



国語科の授業

こころ

自他ともに思いやりの心をもって接する児童生徒を育てます。

達成目標	中2～中3	自他のよさを認め、関わりの中で温かい人間関係を築くことができる。
	小5～中1	仲間との関わりを深め、互いに信頼し、協力して活動できる。
	小1～小4	きまりを守り、誰とも仲良くできる。

- いじめの予防と望ましい人間関係作り(学級力アンケートの実施、改善策)
- 道徳教育の充実
- 読書活動の推進



特別の教科道徳の授業



読書活動の推進

からだ

健康に対する関心と体力の向上を目指します。

達成目標	中2～中3	自らの健康管理や体力の向上に進んで取り組むことができる。
	小5～中1	自己の生活習慣に関心を持ち、各種の運動に積極的に取り組むことができる。
	小1～小4	「早寝早起き朝ごはん」を実現し、運動や遊びに進んで取り組むことができる。

- 正しい姿勢の定着(立腰指導の充実)
- 学校栄養職員と連携した食育
- 養護教諭と連携した保健指導
- 体づくりの充実(からだWEEKの実施・継続した二中学区体操の指導)



朝の立腰タイム



二中学区体操

つながり

保護者や地域と連携して、地域への愛着を育てます。

達成目標	中2～中3	地域やふるさとへの愛着を深め、地域社会に主体的に貢献できる。
	小5～中1	地域やふるさとへの愛着をもち、地域社会と関わる事ができる。
	小1～小4	地域やふるさとのよさを知ることができる。

- 小中合同クリーン活動
- 小中連携によるあいさつ運動の充実
- 小中交流活動の推進(音楽交流会など)
- 子ども未来プロジェクトの推進
- 地域連携の推進



小中合同クリーン活動



小中交流あいさつ運動

各学校の学校教育目標

祇園小学校



響き合い、輝き合いながら共に
よりよく生きようとする子どもの育成
○健康で明るい子
○進んで学ぶ子
○心の豊かな子

緑小学校



自ら考え、主体的に行動できる
心豊かな子どもの育成
○学び合いよく考える子
○明るく思いやりのある子
○心身ともにたくましい子

南河内第二中学校



人間性豊かで、意欲あふれる二中生
1 自ら考え学ぶ生徒 (確かな学力)
2 思いやりのある生徒 (豊かな人間性)
3 体力と気力をきたえる生徒 (健康・体力)
知・徳・体の調和のとれた教育で
「生きる力」を育成